

第3回 天理大学
考古学・民俗学フォーラム

モノ と凶像 から探る

怪獣 の誕生



2015年 6月20日(土)
13時～17時(12時30分開場)

東京天理ビル9階ホール

(東京都千代田区神田錦町1丁目9番地 TEL: 03-3292-0502)

定員 150人 (事前申込みが必要・裏面参照)

入場無料



コメンテーター

小松 和彦

(国際日本文化研究センター所長)

ゲストスピーカー

スソアキコ

(帽子作家・イラストレーター)

発表

橋本 英将

(天理大学准教授)

「龍・鳳凰・鬼——怪獣を纏った大刀」

山本 忠尚

(元天理大学教授)

「正倉院に人面鳥がいる」

飯島 吉晴

(天理大学教授)

「一つ目小僧の系譜」

齊藤 純

(天理大学教授)

「『怪獣』の足跡——怪しい獣からゴジラまで」

趣旨説明

安井 真奈美

(天理大学教授)

質疑応答司会

桑原 久男

(天理大学教授)

総合司会

小田木治太郎

(天理大学准教授)



問い合わせ

天理大学考古学・民俗学研究室

奈良県天理市袖之内町 1050

tel: 0743-63-9035 e-mail: kaiinosekai@yahoo.co.jp

主催: 天理大学文学部考古学・民俗学研究室 協力: 『怪』編集部

土偶、塚頭: 天理大学附属天理参考館所蔵、「豆腐小僧」画像: 国際日本文化研究センター所蔵

第3回 天理大学
考古学・民俗学フォーラム

モノと凶像から探る 妖怪の誕生



◎コメンテーター

小松 和彦 (こまつ かずひこ)

国際日本文化研究センター所長。専門は文化人類学、民俗学。2013年紫綬褒章受章。著書は『神々の精神史』(講談社学術文庫)、『異人論』(ちくま学芸文庫)、『いざなぎ流の研究』(角川学芸出版)、『妖怪文化入門』(角川ソフィア文庫)など多数。

◎ゲストスピーカー

スソアキコ

帽子作家・イラストレーター。仕事の合間に全国各地で縄文時代から古墳時代までの遺跡巡りをし、ウェブサイト『ほぼ日刊イトイ新聞』で「スソさんのひとり古墳部」を連載している。

◎開会の挨拶

飯降 政彦 (いぶり まさひこ) 天理大学学長

◎趣旨説明

安井 真奈美 (やすい まなみ)

天理大学教授。民俗学担当。国際日本文化研究センター客員教授。身体と怪異をテーマに、日本とパラオ共和国で調査研究中。

- 当日、ご参加いただいた高校生の方には、キャンパスグッズをプレゼント。
- 天理大学考古学・民俗学研究室編『モノと凶像から探る怪異・妖怪の世界』(勉誠出版、1,600円+税)好評発売中!

お申込み方法

参加ご希望の方は、住所・氏名・ふりがな・電話番号・参加人数および参加者氏名をご記入の上、ハガキまたは E-mail で下記へお申し込みください。受付は先着順となります。なお、電話でのお申込みはお受けしていません。



<お申込み・問合せ先>

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050
天理大学考古学・民俗学研究室
e-mail: kaiinosekai@yahoo.co.jp
TEL 0743-63-9035
facebook ページ
<https://www.facebook.com/tenrikoumin>

入場
無料

◎発表者

山本忠尚 (やまもと ただなお)

奈良文化財研究所名誉研究員。元天理大学教授。美術考古学を専門とし、紋様を中心に研究している。

橋本 英将 (はしもと ひでまさ)

天理大学准教授。考古学担当。古墳時代から奈良時代の考古学、文化財の保存科学が専門。西アジアの考古学調査にも従事している。

飯島 吉晴 (いじまよしはる)

天理大学教授。民俗学担当。竈神、廁神、納戸神など家の神の信仰を中心に笑いや子供の遊びなど広く日本の民俗信仰を研究中。

齊藤 純 (さいとう じゅん)

天理大学教授。博物館学・民俗学担当。博物館学芸員を経て大学教員に。民具や口承文芸、特に伝説の成立や変化を研究。

◎質疑応答司会

桑原 久男 (くわばら ひさお)

天理大学教授。考古学担当。唐古・鍵遺跡の発掘調査を起点として、弥生時代の研究に取り組んでいる。

◎総司会

小田木 治太郎 (おだぎ はるたろう)

天理大学准教授。考古学担当。考古資料をもとに中国北方・中国・日本を結ぶ研究に挑戦中。天理大学周辺の古墳の調査研究にも注力。



<アクセス>

東京天理ビル9階ホール
東京都千代田区神田錦町1丁目9番地 TEL: 03-3292-0502
JR「神田」西口・徒歩7分、都営線「小川町」東京メトロ「淡路町」
「新御茶ノ水」B7出口・徒歩5分